

# 九州の風

●発行／九州ミロク会計人会  
●協賛／株式会社ミロク情報サービス

Winds from Kyushu

vol.105

2022年10月



筑後川花火大会（筑後地区会 長谷 広信）

## 低気圧・高気圧

近頃、若者たちの頑張っている姿を見るといつの間にか涙腺が崩壊しています。この長引くコロナ禍の中、甲子園大会は言うに及ばず（執筆中は決勝戦でした）TVの視聴者参加型番組に映る学生達の必死で真剣な姿にも心を打たれてしまうのですが、生で観る学生たちは画面で見るとより更に私の心をダイレクトに揺さぶります。先日吹奏楽のマーチングコンテストを観に行く機会がありました。2階席から高校生たちの本番前の練習風景、本番の一糸乱れぬ行進や演奏を観て、彼ら彼女らがこの場に立つまでに流した汗や涙、費やした時間を慮ると鼻の奥がツンとして自然と涙がこぼれてきました。若い頃は感情を表に出さなくて、冷静でいることが責められると勝手に思い込んでいましたが、この歳になると気持ちの赴くままでもいいのではないかという境地になりました。涙脆さは、老化の始まり、鬱の初期症状と唱える方もいらっしゃいますが、そんなことは構わないのです。感動の涙は人間だけが流せるものらしいということですから。

私たちのクライアントの社長たちも起業当初から汗と涙を流し、必死で事業を続けてこられた方ばかりです。クライアントの事業のサポートを行う中で、共に感動を分かち合えるよう襟を正したいと思う昨今です。  
（福岡地区会 東 泰三）

久留米市瀬下町に鎮座する「全国総本宮 水天宮」は、建久初年（1190年）に創建された。西日本最大規模を誇る筑後川花火大会は、久留米藩第2代藩主有馬忠頼公が社殿を寄進した際、その落成祝賀として開催された「水天宮奉納花火」が起源とされている。

## contents

第47回定期総会	1
新任役員・委員紹介	5
記念講演会	9
会員のひろば	20
偏西風・編集後記	25

# 定期総会



## ご挨拶

九州ミロク会計人会  
会長 笹田 毅

令和4年7月20日の第47回定期総会において大久保昌逸会長の後を受けて新会長に選任されました笹田毅です。

九州ミロク会計人会は令和4年3月31日現在、会員事務所数598事務所・会員数637名が所属する会計人会です。ここまで発展しえたのは偏に昭和50年の設立から47年間の長きにわたり会務に携わってこられた、歴代会長や各委員の皆様のご努力は勿論ですが会員皆様方のご指導ご鞭撻のお陰だと思えます。

長い歩みの中で直近3年間は、新型コロナウイルス感染症に翻弄された日々の連続でした。令和2年11月に予定されていた第45回全国統一研修会熊本大会は「中止すべきだ」いや「延期だ」と議論百出。結局1年間延期し、初のハイブリッド方式で開催されたことは皆様ご承知の通りです。意見をまとめられた大久保会長、熊本の現場で指揮に当たられた宮本実行委員長、実行委員会の皆さんも本当にお疲れ様でした。



## 退任にあたって

九州ミロク会計人会  
前会長 大久保 昌逸

当時のMJS 櫻井統括部長と船越久人会長に呼ばれ、「次の会長はあんたしかおらんけん」と告げられ、冷水を浴びせられたような気持ちになったのが2014年春のことでした。たしかに私は当時副会長ではありましたが、第一に、会長は福岡地区会の先生になるべきだし、第二に、どう考えても私より適任の先生方が片手では数えきれないほどいらっしゃいますと固辞したところ、その適任の先生方は税理



令和4年8月29日現在、新型コロナウイルス感染症は第7波の真っ只中にあり、未だ出口が見えません。このような状況の中で、消費税適格請求書保存方式のスタートがいよいよ1年後に迫っています。また電子帳簿保存法への対応も待ったなしです。

九州ミロク会計人会では今後も会員皆様の業務に資するため、感染症対策には留意しながら、タイムリーな会員研修並びに職員研修の提供に努めます。会員相互の情報交換の場として福利厚生事業も実行可能な範囲で行っていきます。

さらにMJSは、税務会計事務所の生産性向上と顧問先企業の経営改善・成長戦略支援を目的とした新サービス開発の為、経営支援PTを起ち上げました。現時点で詳細は不明ですが、皆様には情報提供を行っていくとともに皆様のご意見も頂戴し、より良いサービスが開発されるよう注視していきたく思います。今後ともご指導ご鞭撻の程、宜しくお願い申し上げます。

士会の役職に就いたと論破され、ままと一か月ほど逃げている間に再三の打診、それなら2期4年だけということでのこの年の7月22日第39回定期総会にて会長就任となりました。気づけば4年間のつもりが4期8年間も経過してしまいました。この間、連合会や九州会のことを何も解っていない私を優しく支えてくださった先達の先生方、副会長さん、各委員長さん、理事のみなさんそして事務局には本当に感謝いたします。

思えば会長としての第1期目には、2016年4月14日と16日に熊本地震が発生しました。会員先生方の被害状況がMJSの熊本支社、大分支社から福岡の事務局へ次々と報告されるのを聞きながら居ても立ってもいられない気持ちでした。

この震災の直後の連合会では、MJSの是枝会長の呼びかけで全国の会員先生が義援金を寄せてくださり、その配分は九州会に一任するというになりました。

九州会は、ありがたくこれを受け、プロジェクトチームを作ってその配分方法を検討したのですが、ここで印象に残ったのは東北会のみなさんが東日本大震災のときの恩返しということで特に積極的に募金に応じてくださったことでした。ミロク会計人会という絆を強く感じた一件です。

第3期目では、2019年7月、第44回定期総会を赤川副会長にお世話していただき大分のレンブランドホテルで開催したのですが、台風の影響で翌日のゴルフ大会の参加会員が全員コースに出たところでゴルフ場側がクローズするということがありました。ゴルフをしない私はスタート前の挨拶をしてゴルフ場を出たためそのことは後で知ることになったのですが、まだ朝も早いし別府でのんびり温泉に浸かって帰ろうということで駅前の公衆温泉に入り広い湯船にゆったりとしているところへドヤドヤと裸の男衆が5人、せっかく一人でくつろいでいたのにとおもってよく見ると、なんとゴルフをしているはずの北九州地区会の会員であったというオチでした。「縁があるねえ」とみんなで大笑いしたものです。

また、この年は、来たる2020年11月の全国統一研修会九州大会に向けた実行員会が設立され、開催地については熊本地区会の先生方が震災当時のお礼と熊本の復興を全国の会員に観てもらいたいから、うちでやるよと言っていたいただき大変に心強く思いました。この年2019年10月の全国統一研修会は函館で開催されましたが懇親会終盤の次回開催地アピールでは宮本実行委員長がくまモンの着ぐるみを、その他80名余は同じく、くまモンのお面を付けて壇上に上がり九州の気合いを見せたのでした。

年が明けて2020年1月、新型コロナウイルス感染症の始まりです。



役員退任者を代表して大久保前会長挨拶

2月にはミロク会計人会連合会金子秀夫会長より「新型コロナウイルス感染症対策緊急連絡」が入りました。その内容は以下のとおりです。

- ①令和2年3月中の会議・イベント等(各種委員会及び認定研修等)を連合会、各単位会とも中止もしくは延期する。
  - ②地域事情により、上記会議・イベント等の開催が可能と思われる場合であっても、単位会会長と関係役員及び事務局長が審議して可否判断を行うこととする。
  - ③会議・イベント等の延期もしくは中止については、遅滞なく関係者等への連絡を行い、連合会事務局へ通知することとする。
- というものでしたが、まさに時宜を得た素早い対応でした。

これ以降の研修や会議は全てWeb配信またはリアル出席とWeb配信のハイブリット形式となり会員同士の懇親の機会はなくなりましたが、お蔭で税理士業界全体のIT技術の水準は飛躍的に向上したように思います。

さて全国統一研修会熊本大会については2020年6月の実行委員会において11月の開催を断念し翌年に延期するとの決議を行い、連合会の会議に「第45回全国統一研修会熊本大会延期のお願い」を提出し全員一致で承認されました。

時は流れて2021年11月18日は私にとって会長として最大の懸案であった第45回全国統一研修会熊本大会がWEB配信によって開催されました。現場のホテル日航熊本にはミロク会計人会連合会から金子会長以下副会長の皆様、是枝社長はじめMJSの大会関係者の皆様、ご来賓各位、そして宮本実行委員長と九州ミロク会計人会の大会実行委員の皆さん合わせて70余名がソーシャルディスタンスを保った上で例年の統一研修会と何ぞ変わらぬ大会運営を実現していただき結果として1,000名を超える会員に研修会と式典の模様を配信することができました。関係者の皆様、本当にありがとうございました。以上、この8年間の印象に残ったことのほんの一部を挙げてみましたが、紙面ではとても語りつくせるものではありませんでした。とにかく会員の皆様のご協力にこの場をお借りして御礼を申し上げます。

末筆となりましたが新型コロナウイルスはまだまだ猛威を奮っております。会員の皆様にはくれぐれもお身体にお気を付けていただき、同時にこれからの九州ミロク会計人会をどうぞよろしく願いいたします。ありがとうございました。

## 総会

令和4年7月20日（水）第47回九州ミロク会計人会定期総会が北九州市のリーガロイヤルホテル小倉において開催されました。

総会は佐藤総務副委員長の司会により始まり、まず来賓の紹介が行われ、片山副会長が開会の辞を述べた後、物故会員の氏名が報告され、黙祷をささげてご冥福をお祈りしました。続いて大久保会長の挨拶の後、議長選出に入り北九州地区会の三井会員が選ばれました。議事録署名人には青山会員と中山会員が指名され、議案の審議に入りました。

議案1 令和3年度事業報告及び承認について

議案2 令和3年度決算報告及び承認について

佐藤総務副委員長及び古賀財務委員長から事業報告及び決算報告について詳細な説明があり、長谷監事が監査報告を行いました。審議の結果承認されました。

議案3 令和4年度事業計画及び予算案承認について

佐藤総務副委員長及び古賀財務委員長から事業計画及び予算案について詳細な説明があり、審議の結果承認されました。

果承認されました。

議案4 役員を選任について

小林役員選考委員長が本総会にて任期が満了する役員がいる旨を述べ、役員候補者名簿を示して説明されました。審議の結果承認されました。

以上をもってすべての審議が終了しました。

続いて、昨年開催された第45回全国統一研修会・熊本大会の感謝状が大久保前会長から宮本大会実行委員長に贈呈されました。

また、笹田新会長から役員退任者の紹介があり感謝状及び記念品が贈呈され、大久保前会長が代表して挨拶をされました。

その後、来賓の南九州税理士会の東会長、九州北部税理士会の武部会長（永松副会長代読）及び、株式会社ミロク情報サービス代表取締役の是枝社長から祝辞が述べられ、吉田副会長の閉会の辞により総会は無事終了しました。（北九州地区会 中山 淳）



## 講演会

定期総会に先立ち記念講演会が開催されました。

講師に菊池満氏をお迎えし「小倉藩余滴～小倉城築造から奇兵隊との戦いまで～」と題して講演をいただきました。



（記念講演会詳細は8ページ以下）

## 懇親会

定期総会終了後、多数の来賓をお迎えし開催されました。司会は佐藤福利厚生委員長で笹田新会長の挨拶の後、来賓紹介が行われ、株式会社ミロク情報サービスの由井取締役副社長の乾杯の音頭で懇親会が始まりました。新型コロナウイルス感染拡大防止策を講じた上での開催となりましたが、久しぶりの懇親会の開催ということで、にぎやかな懇親会となりました。

最後に、赤川治之副会長の万歳三唱でお開きとなり、本日のすべての行事が終了しました。

## ゴルフコンペ

小倉の歴史を中心とした講演会、定期総会そしてメイン（私の判断ですが）のゴルフ大会が、一度は行ってみたいと思っていた小倉カンツリー倶楽部で開催されました。

ゴルフ当日は、線状降水帯、記録的短期間大雨、雷雨注意等の予報が発せられた中での開催となりましたが、スタート時には天候不安など全く感じられない青空で、暑さだけが心配でした。

同伴していただいた先生は、シングルの方や300ヤード飛ばす方たちで、到底私の実力では敵わない先生ばかりでしたので、お陰様でプレッシャーもなく気軽にラウンドすることが出来ました。心配していた雨が、後半降り始めましたが、2、3分で終了し、傘をさす間もなく楽しくプレーできました。

私の記憶では、県の大会、九州大会、全国大会で雨に邪魔されたことがないようです。参加される先生方の日ごろの行いのせいだと思っています。ゴルフは同伴者、天候、ハンデ、キャディーさんに恵まれることが一番だとつくづく思います。

（熊本地区会 甲斐 正信）



# 新任役員・委員紹介

次の通り新役員が決定しましたので、ご報告いたします。

会 長	笹田 毅	副 会 長	三井 良彦	外園 令明	岡村 康司	宮本 律夫	赤川 治之	
監 事	柳武 清吉	園田 嘉生	甲斐 正信					
顧 問	山内 英行 吉田 茂樹	石内 忠 波多野 寛	大久保昌逸 阿比留義裕	片山 和博 松本 信幸	濱崎 光夫 雪澤 知之	船越 久人 小屋敷健一	木村 好晴	
地区会長	小林 弘和(北九州) 磯塚絵理子(熊本)	東 泰三(福岡) 泉 比呂志(大分)	長谷 広信(筑後) 長谷川 裕(宮崎)	山口 直孝(佐賀) 小川 廣之(鹿児島)	草野 恒史(長崎)			
理 事	北九州	青山 洋平	小林 弘和	佐藤 亮治	白石 克哉	中山 淳	原田知代子	野村 真宏
	福 岡	赤木 保之	薄鍋 大輔	大坪 一彦	大松 隆	緒方 芳伸	木下 淳子	川野 秀明
		空閑 秀樹	古賀 一生	古賀 照章	柴田佐右里	末吉 幹久	武部 道孝	鉄川さえ子
		成川 弘	野田 昇宏	橋本千代次	東 泰三	松原 弘明	元山 博	行時 智子
	吉住 要祐							
	筑 後	石井 克樹	江崎 洋介	長谷 広信	永松雄一郎			
	佐 賀	池田 健一	志田 誠	山口 直孝	吉村 耕輔			
	長 崎	今村 茂雄	草野 恒史	古賀 昭男	手塚智三郎	野崎 地平	村田 絵理	
	熊 本	赤星 洋一	岩下 茂	磯塚絵理子	河上 侑子	後藤 通晴	坂田 義照	下田 憲幸
		蘭田 福美	高橋重美子	中尾 好輝	畑野 和雄			
大 分	芦刈太一郎	泉 比呂志	伊東 哲也	衛藤 勉	梶原 康弘			
宮 崎	鳥越正太郎	長谷川 裕	前原 和明					
鹿 児 島	小川 廣之	佐藤 哲郎	西山 勝	森田 純弘				

●委員会の構成は下記の通りです。

※副委員長・委員が未定の委員会につきましては、決まりしだいご案内致します。

	委員長	副委員長	委 員		
総務委員会	吉住 要祐(福岡)	佐藤 亮治(北九州) 蘭田 福美(熊本)			
研修委員会	原田知代子(北九州)		吉住 要祐(福岡)	猿渡 潔(筑後)	古賀 昭彦(佐賀)
			東 大智(長崎)	中尾 好輝(熊本)	高橋重美子(熊本)
			衛藤 勉(大分)	衛本千代香(宮崎)	森田 純弘(鹿児島)
広報委員会	空閑 秀樹(福岡)	下田 憲幸(熊本)	中山 淳(北九州)	鉄川さえ子(福岡)	江崎 洋介(筑後)
			池田 健一(佐賀)	笠戸 智仁(長崎)	泉 比呂志(大分)
			四元 一右(鹿児島)		
システム開発委員会	成川 弘(福岡)	山口 直孝(佐賀)	則松 佳孝(北九州)	畠瀬 陽(北九州)	古賀 一生(福岡)
			古賀 照章(福岡)	武松 優(筑後)	手塚智三郎(長崎)
			畑野 和雄(熊本)	梶原 康弘(大分)	鳥越正太郎(宮崎)
			西山 勝(鹿児島)		
福利厚生委員会	佐藤 亮治(北九州)	吉住 要祐(福岡)	石橋 茂(筑後)	石丸新一郎(佐賀)	弥永 努(長崎)
			河上 侑子(熊本)	伊東 哲也(大分)	佐藤 哲郎(鹿児島)
財務委員会	古賀 照章(福岡)		坂田 義照(熊本)		
組織増強委員会	笹田 毅(福岡)		委員は各委員長ならびに各地区会長の方です。		
情報ネットワーク委員会	草野 恒史(長崎)		白石 克哉(北九州)	織田 冬彦(筑後)	吉村 耕輔(佐賀)
			杉本 忠昭(長崎)	畑野 和雄(熊本)	芦刈太一郎(大分)
			本村 信一(鹿児島)		

## 新任役員・委員の

### ご挨拶



#### 総務委員会

委員長 吉住 要祐

この度、九州会の総務委員長を仰せつかりました吉住要祐と申します。

数年前に九北会や福岡支部の役職をすべて卒業？させていただいたとき、会との縁が全くなるのは誠に寂しく、同業者の皆さんとの接点を程良い感じで持てれば、という思いで、以来6年間、笹田会長とのコンビで福岡地区会の総務委員長を拝命しておりましたところ、今回、笹田先生が九州会の会長へ昇格？されたことに伴い、私もめでたく九州会の方へスライドすることになりました（笑）。

2020年春に始まったコロナ騒動は本会の活動に

も大きな影響を及ぼし、残念ながらこの2年はこれまでのような活動はほぼできませんでした。しかしながら、その一方でWeb会議やリモート研修などの新しい試みも定着してきています。環境に変化が生じたとき、それにうまく適応できた種が繁栄し、あるいは生き残ることは進化論の教えるところですが、コロナ収束が未だ視野に入っていない今、本会の活動も当面はwith/after コロナを見据え、更に「進化」させていく必要があるのではないかと考えています。

初めての委員長、それも総務担当ということで不安は尽きませんが、お引き受けした以上は精一杯務めさせていただきます。

MJSの皆様や会員の皆様にご迷惑をおかけすることもあるかもしれませんが、その時は何卒寛大な心でご容赦願えればと存じます。これから2年間、どうぞよろしくお願い申し上げます。



#### 研修委員会

委員長 原田 知代子

研修委員長を拝命いたしました北九州地区会の原田知代子です。

どうぞよろしくお願い致します。

研修委員会は、会計事務所の業務をより付加価値の高いものにするため、税理士会認定研修やMJSシステム運用研修の開催を積極的に進めていくよう活動しています。

研修委員長として、会計事務所を取り巻く環境の変化に対応するため、会員の皆様のご意見を取り入れながら、各種研修会を積極的に開催するよう動いていこうと考えております。

コロナ禍で以前のように会場で直接受講できる研修は少ないかもしれませんが、日本全国の素晴らしい研修を事務所にいながら受講できるオンラインのメリットを存分に活用していただけたらと思います。

これからも、会員の皆様のご声を活かして税経システム研究所とともに研修内容の充実に取り組んでいきますのでこれからの研修にもご期待ください。



## 福岡地区会

会長 東 泰三

この度、九州ミロク会計人会福岡地区会長を拝命いたしました東泰三です。前期まで九州会の頼りない総務委員長を務めておりましたが、今期より福岡地区会のお世話をさせていただくことになりました。

前任笹田会長の方針を踏襲しつつ、徐々にでも自分の色が出せていければよいかと思っております。福岡地区会は私が入会したころよりタレント揃いの高

名な諸先輩方がおられその陰でめくめくとやってきましたが、矢面に立たされ正直不安でいっぱいです。今までは威勢のいいことも言ってきたとは思いますが立場が変わり何事も慎重に進めて参りたいと思います。

コロナ禍の影響下でWEB研修・会議など、直接会員と会うこともなく会務・事業が出来ることがわかりました。これからの会計人会の在り方も変わっていくところは変わっていかざるを得ないかもしれません。しかし変わってはいけないハートの部分は堅守し、新しい世代へバトンを渡せるよう皆様のお知恵を拝借しながら尽力して参りますのでどうぞよろしくお願いいたします。



## 筑後地区会

会長 長谷 広信

令和4年7月5日筑後地区会定期総会において会長に就任しました長谷広信でございます。会員の皆様どうぞよろしくお願い申し上げます。園田前会長におかれましては、平成26年から8年間会長を務められ、筑後地区会の発展に多大なご尽力をいただきました。心より感謝申し上げます。

さて、コロナ禍が始まって2年半ぐらいになりました。研修は、最近やっと会場参加型ができるようになりましたが、それまではライブ配信でした。会議はハイブリッド型になり、親睦行事は中止など様々な行動制限を強いられました。

筑後地区会においても研修は中止、総会は書面決議、また全国統一研修会熊本大会に貸切バスで参加す

ることもかなわず、会員間の交流ができませんでした。今年は7月に定期総会、研修会を開催することができ、久しぶりに会員の皆様とお会いできて本当に良かったと思います。

この間税制は、電子帳簿保存法の改正、インボイス制度の導入と非常に大きい影響がある改正が施行されています。我々九州ミロク会計人会会員は、MJSのシステムを有効に活用し顧問先をサポートしていかなければなりません。そのためには、筑後地区のメイン事業であります研修を充実させ、多くの会員に参加頂くこと及び情報交換のための親睦事業が必要です。コロナが落ち着いたら親睦活動を行いたいと思います。

また、MJSユーザーで会計人会未加入の先生には、会の目的及びオンラインセミナー等の会員特典をご理解いただきご加入頂けるよう活動していきます。地区、九州会の発展のため努力する所存ですので、会員の皆様のご協力をお願い申し上げます。



## 長崎地区会

会長 草野 恒史

今年度から長崎地区会の会長に就任いたしました草野恒史と申します。どうぞよろしくお願い申し上げます。

長崎地区会は「楽しく有意義な活動」をモットーに永年活動してまいりました。野崎地平前会長の後を引継ぎ、私も微力ながら会員の皆様のお役に立てるよう尽力したいと思います。

近年、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため人が集まることを自粛せざるを得ない状況となり、残念

ながら長崎地区会でも2年続けて理事会、総会は書面決議、研修会や総会後の懇親会は中止となっております。なんとか今年は総会が行えたものの、まだまだ予断を許さない状態です。

今年度は目玉のイベントとして、ワンコインのバスハイク懇親旅行も計画しており、是非とも開催したいと願っております。

地区会活動並びに会員募集についてですが、地区会の皆様のご意見をお聞きしながら、昔のように「楽しく有意義な活動」ができればと思っております。他の地区会の皆様のご助言を賜ることも多いと存じますが、どうぞよろしくお願いいたします。



## 佐賀地区会

会長 山口 直孝

令和4年7月1日の定期総会において、古賀昭彦前会長の後を受け会長に就任いたしました山口直孝と申します。佐賀地区会の発展に微力ながら尽くす所存です。会員の先生方のご指導、よろしくお願い申し上げます。

さて、税務実務においては、毎年何かしらの改正が行われ常に変化し続ける環境にあります。最近の改正では、電子帳簿保存法の改正や適格請求書等保存方式などがよく話題に上がります。令和4年分以後の所得税では、副業収入300万円以下は特に反証がない限り雑所得に該当することになるようです。

一方で、税理士が業務で活用するシステムの変化も

目覚ましいものがあります。電子帳簿保存法に対応するべくMJSからe-ドキュメントCloudが提供される等、会員が使うツールも変化し続けています。

九州ミロク会計人会は、研修会の実施を通して税務環境の変化への対応をサポートし、システム開発委員会やシステム研修等を通して業務ツールの変化への対応をサポートする役割を担っていると思っています。また、会員相互の親睦を深めることで会員間の情報共有が加速し、会計人会の果たす役割も活性化すると期待しています。

新型コロナウイルス感染症の影響がなかなか収まらない状況ではありますが、変化し続ける環境に対応すべく、会計人会の活動も可能な限り行っていきたくと考えています。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



## 熊本地区会

会長 碓塚 絵理子

この度宮本律夫前会長の後を引き継ぎ熊本地区会の会長に就任いたしました碓塚絵理子と申します。どうぞよろしくお願い申し上げます。

まずは会計人会の長い歴史の中で、女性初の地区会の会長であると聞いています。

SDGsの取り組みにおいて、『ジェンダー平等の実現』では、政治や経済や社会の中で女性も男性と同じように参加したり、リーダーになったりできるようにすることが求められています。日本は、大変遅れをとっているのが現状です。

九州会の役員では現役員74名中女性9名、全体の12%とまだまだ少ない状況ですが、熊本地区会では、現役員25名中女性7名28%で、ここ数年女性の割合が高くなっています。

今後も『ジェンダー平等の実現』に向けて取組んで参ります。

地区会活動においては、まだまだ新型コロナウイルス感染症の影響が続いていますが『With コロナ』として感染症対策を取りながら、研修会やバス旅行、ゴルフ大会等のイベントを早期に開催する方向で検討して参ります。特に電子帳簿等保存制度や消費税インボイス制度の導入により税理士を取り巻く環境が大きく変化しています。電子化の波に乗り遅れないように勉強会等を企画していきたくと考えています。

最後になりますが、会員の皆様ひとりひとりのお力添えをいただきながら出来ることをひとつずつ全力で取り組んで参ります。今後ともご支援・ご協力お願いいたします。



西日本国史文化研究所所長

菊池 満 氏

※去る7月20日に開催された第47回定期総会の記念講演を要約したものです。

## 小倉藩余滴 小倉城築造から 奇兵隊との戦いまで



小倉城

\* 講演会で使用されました資料（写真データ等）で、本誌に掲載していない資料もあります。予めご了承ください。

ただいま、ご紹介をいただきました菊池満でございます。

私は、ご当地小倉の出身でございまして、小倉生まれで小倉育ちでございます。本日は、小倉藩余滴という演題で、小倉城が築造された時代から、奇兵隊が小倉に攻め込んだぐらいまでの時代のお話をさせていただきますと思います。

私がただいまからお話する内容については、歴史的事実関係を客観的にご紹介させていただきたいと存じます。

### ■小倉藩前史

まずは前史から入らせていただきます。

小倉藩というのは小倉藩の初代藩主であります細川忠興公は最初、中津に入部をしております。したがって、小倉藩の話をするときには中津の話をしなきゃいけないわけですね。細川公は京都の人ですが、なぜ九州の地にやって来たかというお話をしなければならぬわけでございます。

ところで、中津には、天正15年に黒田孝高、すなわち黒田官兵衛が豊臣秀吉に命ぜられまして、豊前6郡12万3千石を与えられて、最初は馬ヶ岳城というところに入城いたします。黒田官兵衛は大変な軍師でありましたから、自分の理想的な城郭を造って、そして城下町も整備して、一説によりますと滋賀の長浜をモデルにした城づくり、町づくりを考えているんですね。

黒田官兵衛が見知った理想的な城郭建築と、そして城下町を参考にして中津の整備をするんですが、ここで問題だったのが、その前任者で、宇都宮鎮房公という方がいたんですね。この方は豊臣秀吉に命ぜられまして、「おまえは伊予国の今治に行け」と命ぜられたわけでありまして、それを拒絶するんですね。嫌だと。それで結局、宇都宮公は黒田家と徹底抗戦の構えを見せるわけでございます。

明るく年から黒田官兵衛によって中津城の築城が開始をされるわけでありまして。現在でも中津城に参りますと黒田時代の石垣が残っております。

ところが、あるとき熊本で一揆がございまして、黒田官兵衛は一揆を鎮圧しなきゃいけないとそっちの方に出張るんですね。留守番をしていた息子の黒田長政が宇都宮鎮房公を中津城内に招き入れて惨殺をするわけです。

なぜ、このような非情な手を使ったかという、宇都宮のお殿様は黒田家が攻めてきたとき、大きなお城二つに、片一方には戦える家臣たちと領民たち——男性ですね、もう片方の城にはお年寄りや子供や女性、そして戦えない人々をかかっていたわけですね。だから、黒田家が攻め入ったときには領民の協力はほとんど得られなかったんです。

その結果が、この中津城内における惨殺事件だったわけでございます。

その後、慶長5年になりまして、これは関ヶ原の後ですね、論功行賞によりまして黒田氏は筑前52万石に加増。いわゆる転封されまして、最初は名島に入るんです。現在でも名島城の跡というのがあります。名島に入った後に、あまりにも地理的に不都合が多いということで、現在の大濠公園のところに大きなお城を造るんですね。当時は福崎といってお

りましたけれども、黒田官兵衛が備前の国福岡村の出身であったために地名を福崎から福岡に改めて、その後、舞鶴城を築城するわけでございます。

## ■細川忠興による 小倉城築造と城下町の整備

それで、黒田氏に代わって中津に入ったのが、丹後宮津から細川忠興公が豊前国と豊後2郡、合計39万石を与えられて、最初是中津に入るわけです。したがって、小倉藩の一番最初のスタートというのは中津なんですね。その後、中津ではやはり豊前国一国を治めるのにはなかなか適さないということで、小倉城の大改修工事を行うわけです。もともとお城があったんですね。慶長7年にそういうことをやって、細川忠興が、約7年と言われておりますけれども、城郭の整備、そして城下町の整備をしております。

小倉というのは戦時中に空襲に1回しか遭っていないんですよ。昭和19年6月16日に1回だけしか空襲に遭っていませんから、街中はほとんど区画が変わっていません。ただ区画が変わっているところ、道路が広くなったりしているところは多少あります。今は言いませんけれども、明治時代になって路面電車が走る場所があるんですね。旧電車通りと言いますが、そこは区画が広がっておりますのと、あと、モノレールが通っているところで平和通りという通りがあります。そこは戦時中の建物疎開で建物を間引いておりますので若干区画が変わっております。鍛冶町、堺町——家中原と江戸時代は言っておりましたけれども、この一帯は江戸時代と道幅等々がほとんど変わっておりません。したがって、細川公がつくった城下町の名残がそこにあるということですが、武家屋敷が1軒もないのは幕末に奇兵隊が小倉に攻めてきて争いになったからですね。戦になったからであります。

黒田家に代わって来た細川忠興は大変気性の荒い方でありまして、この人は結構暴君だったんですね。有名な話が、この人は鷹狩りが物すごく好きで、小倉城が築造されて、そして、城下町を整備した後も鷹狩りをするんですよ。あるとき小さな祠を見つけて、家臣が止めるのに、よせばいいのに祠の扉を開けるんですね。そしたら、鷹が飛んできて一回失明をするんですよ。眼病になるんですね。これは何かのたたりだということで、神社を創建したら瞬く間に眼病がよくなったという逸話があります。

あるいは、これは熊本に行った後ですけども、この方は忠利という息子さんのほうが先に亡くなるんですね。そうしましたら、当時は殉死というのがあるんですね。お殿様が亡くなると、仕えておいた重臣は殉死といって一緒に切腹するんですよ。そういう文化があるんですが、細川忠興は阿部氏という家臣だけ、「あなたは大変優秀だから、殉死せずに残って細川家のために尽くしてくれ」と言って殉死させなかった。ところが、後から阿部氏に謀反の疑いこれありということで、阿部一族をせん滅するんですね。森鷗外の小説にもなっていますし、戦前映画にもなりました。そういう気性の荒いお殿様でありました。



中津城模擬天守

これは現在中津にある模擬天守です。中津というのは、戦後、模擬天守を復興したんです。小倉も戦後、昭和34年に天守閣を復興しておりますけれども、小倉城の場合は復興天守。こちらは模擬天守なんですね。中津は、実は黒田官兵衛が築城したという記録はあるんですが、天守閣があったという記録がないんですね。御殿はあるんですよ。

城中に中津大神宮とか奥平神社とか、先ほど申し上げた中津城内で惨殺された宇都宮一族をお祭りする城井神社という小っちゃな神社もございまして。

## ■城下町小倉

それで、やっとならば城下町小倉のお話になりますけれども、小倉というのは細川公が入った後、小笠原家が転封されて来るわけです。慶長7年にお城ができましたよというお話はしましたが、小倉城というのはもう大改修工事でありまして、小倉城のある一帯を勝山公園と申しますが、もともと小倉城の本丸があるところが勝山という丘なんですね。その丘の地形を利用して城郭建築がもともとあったわけであり

ます。それを細川公が大修築工事を行いまして、紫川という川が流れているんですが、そこを中心に、東曲輪と西曲輪から成る城下町を建設したわけでありまして。また、外敵からの侵入に備えまして、城下町はどこでもそうですが、寺院を置いて防衛拠点の一つにしたわけですね。

中世の寺院建築というのは、周りに空堀を巡らせて、城壁と同じぐらいの高さの堀で囲まれているんです。お坊さんというのも、ほぼほぼ大きな寺院は僧兵といって武装をしているんですね。お坊さんというのは武装しているんですよ。

寺院というのは本堂が大きいでしょう。挙兵をするときに使ったり、いろいろするわけですね。したがって、防衛施設の一役を担っているのだから、城下町というのは要所要所に寺院を構えるということになっているわけです。残念ながら、小倉は昭和30年代の市街地再整備におきまして寺院がかなり移動しておりますので、現在、あまりそういう名残を見ることができませんが、かつては富野口、門司口、そして香春口など、いろいろな城下町の出入口には大きな寺院が配置をされていたわけですね。これは細川忠興が城下町を整備するときに、防衛上の観点から寺院を造ったわけでありまして。

## ■小倉祇園太鼓と細川忠興

それと先週当地でやっていたんですけど、小倉祇園太鼓が3年ぶりに復活をしました。先ほど鷹狩りに行って細川忠興が失明をしたという話をしましたけれども、それで造ったのが八坂神社なんですよ。明くる年、八坂神社が元和3年にできて、元和4年に、祇園さんをやろうということで——あの人、忠興は元が京都の人ですから、祇園さんを始めたというふうにいわれております。戦時中1回中断すると、今回はコロナで大騒ぎしまして丸々2年ほど中断されておりましたけれども、今年やっと再開ということですね。

小倉祇園太鼓は、もともと静かなお祭りでありまして、博多の祇園祭さんとはちょっと性質が違っているんですね。なので、静かに本来は見るものであります。

これは余談になりますけれども、今は据え太鼓——太鼓を据えてたたく人たちがいるんですけど、あれは本当は駄目なんですよ。本来は山車なんですよ。三つだけ漁師町がありまして、そこだけは神輿でいいんです。装束も、神輿は法被なんですよけれども、山車の町内は揃いの浴衣というふうになんて決ま

っているんですよ。

ということで、細川忠興公は小倉の有名なお祭りでありまして祇園太鼓も創始をしたお殿様であるということですね。

## ■小倉城

これが小倉の城下町。これはあくまでも後の世に描いた想像図でありますけれども、ここが常盤橋と言われるところでありまして、今より川幅が広いんです。紫川というのはかなり護岸工事をして埋め立てておりますので。



小倉城と小倉城下町

ここが小倉城。小倉城の構造については、永青文庫に残っている細川家の文書では「五層六階」と書いてあるんですよ。ただ、小笠原家の文書では「四層五階」と書いていまして、一体何階だったのか分からないんですね。この辺が現在室町と言っていますが、本来は武家屋敷と町人の町が混在していたので、諸町と言っていたのが後の世になって室町になったというふうにいわれています。だから、決して京都の室町から取ってきたわけじゃないんですよ。もともと諸町だったということですね。

ここが常盤橋。現在、木の橋ということで復元していますが、外国の木材を使ったそうで、当初20年もつはずだったのが10年ぐらいいつて1回駄目になって、大改修工事をしたけれども、



江戸時代の常盤橋

江戸時代の橋梁をイメージした橋がかかっております。もともと船が行き交うようなところのございまして、小倉城というのは平城というふうにございまして

ている文献もありますけれども、実際には丘城の類いになります。

こちらが東曲輪、こちらが西曲輪です。現在、リバーウォーク北九州という複合型商業施設がございいますが、あの辺は家老の屋敷があったんですね。原家とか宮本家とか。宮本家というのは宮本武蔵の養子の家であります。そういうことでありまして、西曲輪は大体武家屋敷が多かったと。東曲輪は武家屋敷もあるんですけども町人さんや商家もありまして、いわゆるお武家さんと町民と一緒に暮らしていたような町並みが広がっていたということでありまして、これはあくまでも後の世のイメージです。



小倉城下町区割図

こちらが江戸時代前期の配置図です。先ほど紫川は大変川幅が広いと申し上げましたけれども、江戸時代はこういうふうになっておりまして、この辺は大正時代に埋め立てたんですね。馬借1丁目というところですよ。

どこの城下町もそうですけれども、武家屋敷というのはお城に近いほうが位が高いんですよ。お城から遠ざかると位が低くなる。いわゆるお目見え以上、お目見え以下になるわけです。このようにしまして、城郭を取り囲むように、東曲輪には重臣の屋敷があったわけでありまして。

現在、かなりお堀を埋め立てたり、あるいは暗渠にしている部分がありますけれども、外堀はまだ残っています。それと、本丸のところは一部お堀が残っておりますけれども、そういうような感じでありまして。現在、小倉城へ行ってみますとかなり無防備になっていますけど、実際にはそういうことはないわけでありまして。大変堅牢なつくりの城下町だったということが言えるわけです。

先ほど細川忠興が整備した城下町の区画がほぼ残っているといたしたのは、このエリアですね。碁盤の目になっております。やはり京都をイメージして、

碁盤の目になるように整備をしていったということですね。

ちょっと抜粋して拡大したのがこういう感じで、ここが、今、小倉城庭園といって書院造りの建物を復元しておりますけれども、昔はずっと入れていたんです。私が子供の頃は池がありまして、ザリガニなんか釣っていたんですけどもね。そして、ここは本丸ですね。



八坂神社（現在）

現在、北の丸というところに八坂神社という神社があって、これは昭和9年に遷座しているんです。だから、城郭の一部は残っておりますけれども、ほとんど往時の面影はないという感じですね。

今の小倉城と言われるところは本当にごく一部なんです。本当は城下町全体を城郭とみなしておいたわけですから、かなり江戸時代とは違うわけです。ここは家老の屋敷。ここが武家屋敷と町人さんたちが住んでいた諸町——後の室町ですね。この地図は江戸時代中期に近い前期なので「室町」という表記になっています。これは常盤橋ですね。常夜灯、いわゆる灯台みたいなものがありまして、こういうふうに来街があって、いわゆる長崎街道の起点だと言われてるところです。

これは結構もめるんですよ、起点争い。実はこっちが室町とって、こっちが京町というんですけど、京町の方は、いや、常盤橋の東側が起点なんだと言うんですね。室町の方は、いやいや、常盤橋の西側が起点なんだと言って、あと、門司の方は、いや、門司往還があるから門司が実は長崎街道の起点だということで、これはなかなか論が分かれるところがあります。一応、今もっての定説では、常盤橋の西側が長崎街道の起点だと言われております。

これが復興前の小倉城の天守台であります。これは戦後の空撮写真ですけども。小倉は明治以後になりまして陸軍が駐屯しましたので、軍隊の施設の

建物が戦後も残っておったんですね。こういうふうな天守台。建設された当時の写真がこういう感じです。この写真で見ると、なるほど少し丘になっとなんということがお分かりいただけるかなと思います。

こちらが海側ですね。これが前の駅舎ですけど、小倉駅。今、私たちがいるのはこの辺ですね。昔豊楽園球場という野球場があったんです。この辺は昭和の初めに浅野財閥が埋め立てた埋立地でありまして、もともとは海ですので地面はありませんから。そういうことであります。復元されたときには、今の市役所のところにジェットコースターがありまして、面白い景色が広がっておりました。



小倉城復興天守とジェットコースター

小倉城は、先ほど復興天守というふうに申し上げて、復元天守ではないんですね。城郭で天守を復元するときは、外観復元とかいろいろあるんですが、本来は大体復元をするんです。外観の資料が残っておって復元をするんですが、小倉城はまず5階建てだったのか6階建てだったのかは分かっていないんですが、外観だけは分かっているんですよ。南蛮造りという、5階の部分よりも4階の部分のほうが狭い、ちょっと変わった構造をしております。

この構造だったことは間違いないんですが、なぜ現在建っておる天守閣が復元じゃなくて復興なのかというと、ここの部分を破風というんですけども、なかったものをつけちゃっているんですね。したがって、復元天守とは言いません。この辺で外観復元という、いっぱいありますけど、岡山城とか広島城なんかの外観復元といいます。小倉城は破風をオプションでつけてしまったために、復元天守じゃなくて復興天守という言い方をします。昭和34年にできたものであります。

博覧会も開催をされまして、会場になったりもしました。小倉は朝鮮動乱の影響で、進駐軍、その後、駐留米軍と、接収が長く続きまして、昭和32年に

接収が決定をして昭和33年に接収解除になっていきますから、しばらく米軍に接収されていたんですね。これは昭和35年に開催された博覧会でありまして、もともと兵器工場がありましたから、その工場建物を利用して、このような博覧会も開催されました。それに合わせて、前年の昭和34年に小倉城の天守閣が復興されたということでもあります。

もともとはこういうふうな小倉城の石垣が残っておりましたけれども、現在はもうありません。これは残っておったんですね。これは大正時代の写真でして、上は歩兵第14連隊の兵舎の建物なんですけど、城郭建築の名残がこういうふうに残っておったんです。これは現在、リバーウォーク北九州という商業施設になっていますが、そちらが建設される際の発掘工場の写真ですね。これは小倉城が築城された直後ぐらいの遺構だったらしいです。

これは現在の市役所のところですけども、これは一部残っています。ここもそうですね。ここはもう全く残っていないです。発掘調査をした後に壊していますので全く残っていませんが、これは細川時代の石垣だったということで、野面積みの大変強度の高いやつだったわけです。

これは北九州の市役所なんですけど、一部こういうふうに残っています。本当は周りにもずっとあるんですけども、そういうところが今、残っていないということでもあります。



小倉城発掘調査

この辺で言うと、広島は原爆の爆風でやられておりますが、岡山城なんかは割と門が残ってまして、廊下門とか有名な門がいっぱいあります。なぜあれがいいかということ、やっぱりお城としての醍醐味があるからなんですけど、残念ながら小倉城に関しましては、そういうものがほとんど残っていません。一回、実は城郭の周りを整備しようということをやったんですけども、なかなか北九州市はお金がな

いということで、そこまでいきませんで、私は城壁をもうちょっと増やしたほうがいいんじゃないかと言ったんですが、なかなか実現はしておりません。城壁で囲めばまだいいんじゃないのかなと思っています。

今から30年前に、やっぱり天守閣があったんじゃないかという資料が発見されたんです。それは、細川忠興の息子の細川忠利の日記なんです。そこに、「黒田公は天守閣を破却した」と書いてあるんですね。要は壊したと。その記述をもって、壊したということならやっぱり天守閣はあったんだろうという話になりまして、にわかには盛り上がったんですけども、やっぱり天守閣はできませんでした。

話を戻しますけど、これが昔の八坂神社。鋳物師というところにありました。こういうふうな神社だったんです。だから、本来は細川忠興公が創建をして、昭和の初めぐらいまでは大変楚々としたお社だったわけですが、昭和9年に現在の小倉城の北の丸に遷座をいたしまして、大変立派な神社になっております。

これが大正時代の小倉祇園太鼓の様子です。最近、やっとな国の重要無形文化財に指定されたんですけども、その直後にコロナで世の中が大騒ぎをしまして、祇園さんそのものができなかつた。お祭りというのは、毎年やるから文化の伝承ができるんですね。したがって、やはり毎年太鼓をたたかないと、人間ですから、だんだんたたき方を忘れるんです。有形文化財ではなく無形文化財ですから、やらないと駄目になっちゃうんですね。だから、もう今年がタイムリミットだったわけです。どうにかできましたけど、また最近ちょっと感染者が増えて、その辺が心配であります。

そういったことで、これは大正時代。そろいの浴衣で山車なんですね。こういうふうなお祭りであります。

## ■小笠原忠真の入部

外様大名と小倉藩ということで、実は九州は外様の大大名が大変多いんですね。黒田もそうですし、細川もそうなんです。もっと言うと、島津はそうですね。

徳川家というのは、徳川綱吉の代になるまで政権基盤が磐石ではありませんでしたから、そういった意味では、九州をどうしようかということで徳川幕府も手をこまねいておったわけですね。そのときに

熊本の加藤家が改易になりまして、その代わりに行ったのが細川公、細川公の代わりに入ってきたのが小笠原忠真さんという方です。

この方は、徳川家康の養女の御主人ですから、もうほとんど徳川家なんですね。一族です。譜代大名ではありますけれども、親藩に近い譜代大名であります。寛永9年に細川氏が54万石をもって肥後熊本に転封されて、明石というところから小笠原忠真公が豊前6郡15万石を与えられて小倉城に入っておりますけれども、この15万石は公称15万石なんです。検地のデータなんかを見ると、小倉藩は一応15万石ですけど、実質22万3千石ぐらいあったと言われています。そういうふうなことであります。

細川忠興公が転封した後、小笠原忠真は何をしたかといいますと、お城はある、城下町もあるということなんです。小笠原家というのは面白いんですね。

もともと小笠原家は臨濟宗だったんです。この人は長野の出身の一族なんです。豊秀山開善寺というお寺が、小笠原家が転勤するたびに一緒についていっていたんですね。小倉にも開善寺というお寺はあるんですよ。なのに、あるとき黄檗宗に帰依するんですね。黄檗宗のお寺を造ろうということで、広寿山福聚寺と申しますけれども、一大寺院を建築しよう。これは忠真の後の忠雄の代まで引き継がれるんですが、一大伽藍ができるわけです。

禪宗というのは幾つか種類がありますね。一番中国の禪宗に近いのが黄檗宗と言われている。次に臨濟宗。曹洞宗が実は道元禪師が日本の文化とミックスさせて普及しやすいようにしたと言われているんですけど、一番中国仏教に近い禅の教え、黄檗宗に小笠原家は帰依をしたということです。

江戸時代前期の北部九州ですけども、小笠原がいて、これは松平と書いていますけれども、黒田家は徳川家からお嫁さんをもっていますから松平家を称しております。こちらは黒田、鍋島、いろいろありますけれども、大藩がやっぱりいるわけですね。

江戸時代というのはかなりの法治国家でありまして、例えば、藩の領民が隣の藩に脱藩しますね。当時は逃散といっていましたけれども、藩の境を越えて隣の藩に逃げたと。そうしたら、逃げた領民も処罰されるんですが、逃がした領民を出した藩も、いわゆる政情が安定していない、政治が悪いということで藩にもおとがめがあったんですよ。そういう時代なんですね。だから、非常に法治国家であります。

そういうことでありまして、封建社会ではありま

したけれども、法治国家の体をなしておったわけですね。それが江戸時代です。だから、例えば、幕府評定所に訴え出て裁判になったら、今と一緒にねですよね。負けたほうが裁判費用を払うんですよ。そういう制度がもう江戸時代には確立をされていたということでもあります。

そういうふうな制度設計はできておったんですが、まだまだ外様の大大名がいるなということで、小笠原忠真は徳川家の親戚でありますから、九州探題職という九州の見張り番を兼ねて小倉に封ぜられたわけでありまして。特に恐ろしいのは黒田、細川、島津だったわけですね、大藩でありますから。

参勤交代というのがありますけど、家光のときに制度化をしました。参勤交代は、いわゆる大名に限っては1年置き、あと、小名とかいう言い方をしますが、大身旗本といって領地に住んでいる旗本がいるんですよ。この人たちは4年に1遍参勤交代するんですね。特に西国大名——九州の黒田、細川、島津なんか大変です。

皆さん参勤交代といったら「下に、下に」というイメージがありますがけれども、あれは関所を通るときだけです。あとは大体船で行くんですよ。特に九州の大名は。その代わりお金がかかりますけれども。ですから、小笠原の小倉のお殿様の分家筋で小倉新田藩の藩主だった小笠原真方公という方は、参勤交代の帰りに船が難破して亡くなるんですね。昔は船で行っていた。ほとんど船ですが、お金がないところは歩いて行かなきゃいけませんけどね。

参勤交代というのは、関所を越えるときに現地で中間を雇いまして、石高に応じて人数をそろえるんですよ。それによって参勤交代に必要な額のお金を使っているということを幕府に見せて、それで成り立っていたわけですね。だから、ちょっと人数をけちると謀反の疑いこれありになるわけですから、大変シビアなんですね。大名行列というのは関所を通るときだけです。ずっとああして歩くわけではありません。あんなことをしていたら1年置きで江戸には行けませんから。

ということで、小笠原忠真公ですね。この方も大変な文化人でありましたし、小倉藩の始祖ということでありまして、細川家はいるんですけども、この後、小笠原家が幕末・明治に至るまでこの辺を統治することになるわけでありまして。

こちらが、小笠原忠真公が自身の小笠原家の菩提寺として建立した福聚寺の本堂であります。皆さん御覧のとおり、長崎に行くとこういう寺院が多いん



小笠原家の菩提寺 福聚寺

ですね。いわゆる中国の仏教建築の様式を取り入れたものとなっています。非常に珍しい。黄檗宗はこういうのが多いですね。こちらの本堂と不二門というのが江戸時代からある建物です。ほかにもいっぱいあったんですけども、幕末に奇兵隊が攻めてきたときに熊本藩がここに本陣を置いたために兵火にかかりまして、いわゆる戦災で焼けまして、ほとんど残っておりません。

梵鐘があったんですよ。江戸時代に鋳造された釣鐘ですね。あれもあったんですが、戦時中に金属供出というのがございまして、見事、金属供出の対象になりまして、二宮金次郎の銅像と運命を共にして鉄砲の玉になっちゃったということで、現在のは戦後に造られた梵鐘であります。ぜひ行ってみられると、紅葉の季節が大変いいですね。後ろが足立山という山ですね。こういうふうな寺院も建築したということでもあります。

## ■小倉藩と福岡藩

小倉藩と福岡藩ですけど、実はあんまり仲よくないんですね。これは細川忠興のときに遡る話なんですけど、黒田から代わって細川さんが来たでしょう。もともと黒田さんと細川さんはすごく仲がよかったんです。ところが、中津に細川さんが来たときに仲たがいをします。原因をつくったのは黒田長政であります。

お殿様が転勤するときに、当時、税金というのはお米で取りますから、年貢米、半分は次のところに持って行っていいんですよ。半分は残しておかなきゃいけない。次来る人のために半分は残して、半分だけ持って転封しなさい、転勤しなさいなんですけど、黒田長政は全部福岡に持っていったんですね。名島に。だから、細川が来たとき、米蔵を見たら空なの

でびっくりしちゃったんです。

普通なら謝るでしょう？「いやあ、ちょっと何かの手違いで全部持っていったんで、半分返します」というのが本当なんですけど、黒田のお殿様はそんなことしなかったんですね。藩の境のところに筑前六端城という出城を造りまして、攻めてくるならいつでも攻めてこいと。そういうことで、仲たがいますんですね。



豊前国と筑前国の国境石

それが小笠原家の時代も続きまして、今でも境界争いは個人のお宅でもありますけれども、境界争いが起きて、こういう国境石というのが建っています。こちらは福岡藩が建立したやつ。こっちは小倉藩が造ったやつで、「従是東豊前国（これより東、豊前国）」と書いているんですが、小倉藩が建立した国境石は何本かしかないんですね。ほとんどは福岡藩が造っているんです。「従是西筑前国（これより西、筑前国）」と書いているんですね。

なぜかという、福岡藩というのは佐賀藩とも領地争いをしているんですね。境界争いをしまして、幕府評定所に訴え出ているんです。福岡藩が負けたんですね。敗訴。裁判費用を全部払った。その経験があるので、小倉とももめておるのではっきりさせようということで、努めて福岡藩が国境石を建立しています。ほとんど福岡藩が造ったものなんですけど、こういう境界争いなんかも起こっています。

## ■小倉の人々の生活

城下町小倉のお話ということで、もうそろそろ1時間になりますからね。どういうふうになんか暮らしておったのかということでもあります。先ほども御紹介しましたがけれども、こういうふうな城下町だったということです。今は全く面影がありませんけれど

ども。

江戸時代も結構旅行してよかったんですよ。江戸の町民の一番の旅行といたらお伊勢さん。伊勢参りですね。弥次喜多道中なんかはお伊勢に行くという話であります。だから、観光ガイドブックがあるんですよ、江戸時代も。各藩の名物なんか書いてあるんですね。いろいろな人がちゃんと許可を得て旅行に行っているんですよ。

江戸時代に一番日本を歩いた人というのは、松尾芭蕉と伊能忠敬です。伊能さんは地図を作るためですけど、松尾芭蕉は一説によると幕府の隠密だったという説があります。あの人は伊賀のほうの出身なんですね。先祖が百地丹波という人なんですけど、昔の人は一生に一度どこかに旅行に行くというのが一つ楽しみだったわけです。都市部に住んでいる人たちはですよ。

ちゃんと観光ガイドブックもありまして、江戸時代の観光ガイドブックに小倉の名物は何て書いてあるかという、まず、小倉の袴。これは小倉織といって今ネクタイとかいろいろなっていますけれども、小倉の袴ということで、徳川将軍家にも献上された有名なものであります。

昔、三波春夫さんという歌手がおりまして、有名な「俵屋玄蕃」という歌があるんですよ。「槍は錆びても 此の名は錆びぬ」、せりふの部分に、赤穂浪士が討ち入りしたというところで、「段小倉の袴」と出てくるんですよ。俵屋玄蕃が小倉の袴をはいたというせりふがあります。それぐらい有名な名物であります。

もう一つが三官飴といって、8軒ぐらい業者さんがあったわけですけども、これも徳川将軍家に献上されたものであります。あめという、あめ、なんだ、キャンディーかと思う方がおられるかもしれませんがけれども、この時代の飴というのは医薬品です。今でも浅田飴というのがあります。水あめなんですね。固形のあめではありません。これが非常にいいということで。

面白いのが、このあめ売りの人たちは、チャルメラを吹いて、中国の服を着て、そして、かついで売ります。唐人由来といって。チャルメラというのは本来朝鮮の笛でありますから、昔の江戸時代の日本人からすると朝鮮半島から向こうは全部中国だったわけでありまして。そういうことで、唐人由来の飴なんだと。いわゆる薬というのは唐人——中国由来がいいわけですね。「漢方だ」となるわけです。生薬が入っているわけじゃないんですけども、飴

も薬として重用されておりましたから、唐人由来の三官あめということで全国的に大変有名だったわけでありませぬ。

先ほどもちょっと触れましたけれども、交通の要衝だった小倉ということで、九州の玄関口に面して五つの街道の拠点だったわけですね。先ほど私は便宜上、長崎街道という言葉を使いましたが、江戸時代に長崎街道とはいっておりませぬ。小倉の人は長崎往来と言うんですよ。長崎の人は小倉往来と言います。長崎街道とかいう言葉ができたのはごく最近です。

東海道という言葉があって、海の道があるのなら街の道もあるということで、読みが先に来て後から字をつけているんで、あれは「がいどう」と言う人もいますけれども、本来は「かいどう」と読んでいただきたい。したがって、長崎街道という言葉は江戸時代ありませんから私は使いませんが、小倉には長崎往来、長崎街道、そして中津往来、中津街道、それから秋月というところがあるんですが、こちらの秋月往来、唐津往来、そして、本当は門司往来——門司は江戸時代まではこういう字を書いていたんですけどもね。今、門の司です。門司往還とか大里往還という言い方をしますが、この五つの街道の起点が小倉の地だったわけでありませぬ。特に長崎街道というのは、いってみれば江戸時代の一級国道ですからね。

宿場町というのは面白くて、構口という門があるんですよ。どこの宿場町も、朝、定時になったら門が開いて、夕刻定時になったら閉まる。街道というのは必ず蛇行しているんですよ。これは、有事の際に敵軍が一直線に攻めてこられないように、蛇行するように造られている。宿場町も、構口という門があって、必ず定時になったら門を閉めたり開けたりしていたんですよ。

小倉はシーボルトの日記にも登場しまして、城壁に囲まれた大変堅牢なまちであると書いています。シーボルトはスパイでしたからね。地図を買いあさったりいろいろして、小倉も滞在しているんですよ。いろいろ見て、これはすごい、要塞みたいなまちだなという記述があるわけですね。

あと、小倉にも上水道が整備をされておりました。江戸時代は江戸にも上水道がありましたし、大都市には水道があるんですよ。水道といっても木管の水道ですけどね。皆さんが想像する、今使っているこういうやつではありませんけれども、江戸時代も水道があった。だから、江戸っ子の人たちは、自分たちは水道の水で産湯を使ったというのを物すごい自

慢にしておった。これは小倉の人も、記述を見ると、そういうことを言う人がいたそうです、昔は。自分は産湯が水道だったと。江戸時代の生まれの人ですよ。そういうふうなことでありまして、江戸時代から水道が整備されておった。

ただ、水質が当時よくなかったそうです。今から5年ぐらい前に大手町というところである発掘調査があって、江戸時代の水道管が出てきたんですよ。調査をした結果、あまり水質はよくなかったけど、水道があったことは間違いないということで、先進都市だったということでありませぬ。

## ■ 幕末動乱 奇兵隊との戦い

そろそろまとめでありますけれども、クライマックスであります。幕末動乱の小倉ということで、奇兵隊との戦いがございます。

もともと小倉は、幕末、天守閣がなかったのは奇兵隊に焼かれたためではありません。天保8年に失火で焼けています。文久3年、これはどこもやっていますけれども、海防強化のために小倉にも台場——砲台を建設しております。東京にお台場というのがありますけど、あれは砲台を意味します。小倉も今の小倉駅のところにお台場というところがあったんですよ。

そして、慶応2年、丙寅の御変動——これは第二次長州征伐とか山口県では四境戦争という言い方をしますが、長州の奇兵隊との激しい戦闘を展開して、小倉城に自ら火を放って転進をします。このときお殿様は幼君でしたので熊本に避難をしております。そして、慶応3年、小倉藩と長州藩で和議が成立しますが、このときに門司、小倉北区・南区、八幡東区の一部、いわゆる企救半島と言われるところが長州藩のお預かりとなります。

これが台場です。こういうのが小倉駅のところにあったんですよ。海に面した城下町は、こういうのを



小倉藩 台場

造ったんです。この時代は外国が攻めてくるかもしれないという脅威があった時代ですからね。攻めてきたのは高杉晋作さん。奇兵隊を率いて小倉を攻めてきました。

奇兵隊は、もう文字どおり、奇抜なことをやるんですよ。まず、身分にとらわれない。これも江戸時代からした奇抜なことです。もう一つ奇抜なことは、ルールを守らない。我が国の有史以来、ルールを守らなかった歴史上の人物で有名なのが3人いるんですよ。一人は源義経、もう一人が織田信長、そして高杉晋作です。

高杉晋作は何をしたかという、夜、大里に上陸してきたんですよ。今のところ歴史的評価が高いのが例外的事例でありますけれども。そういうことで、夜襲をかけたりいろいろするんですね。激戦がずっと続いたんですが、悪かったのが、小倉藩の分家で唐津の小笠原公というのが幕府の老中をしておりまして、長州が攻めてきたということで、幕府の総督で小倉まで出張してきたわけですよ。ところが、14代将軍家茂が亡くなって、幕府の軍艦に乗ってそのまま帰っちゃったんですね。そしたら、せっかく応援に来ていた熊本とかが、こんなのやられるか、ばからしいということで帰ってしまったために手勢が少なくなって、小倉が形勢不利になったわけです。

形勢不利になったとき、小倉に一番乗りしてきたのが乃木希典。この人は奇兵隊だったんですよ。今、下関市の長府に参りますと乃木神社というのがあります。私は乃木希典を尊崇していますから月に一遍ぐらいあの神社へお参りするんですけども、一番乗りしたのは乃木希典なんですよ。

面白いのは、乃木さんというのは、この後、明治になって小倉にあった歩兵第14連隊の2代目の連隊長心得になりまして、現在、リバーウォークにスターバックスコーヒーがあるんですけど、そこに家があって住んでいたんですね。14連隊の連隊長心得のときに西南の役が起きて、この人は軍旗を奪われまして、切腹しようとするんですけども、そういう逸話があって、小倉とは浅からぬ因縁のある方です。奇兵隊に入っていたときに小倉に一番乗りをしたのは、この乃木希典だということになります。

奇兵隊との激戦地だったところというのは面白くて、明治21年にこの辺は下関要塞地帯といって要塞地帯になるんですよ。陸軍が要塞を造るんですね。そのときに、この北九州側、特に小倉の周辺は、奇兵隊との戦いで激戦地だったところが砲台になっています。それだけ地形上弱いということで、これは



手向砲台跡



手向山麓の宮本家墓所

敵の艦船とか上陸部隊が来たとき大変だということで、こういうふうには砲台の、今は跡ですけど、これは格納庫の跡ですね。

もともとこの手向山というのは武蔵山というおりました、先ほど宮本武蔵の養子の方が小倉藩士だったという話をしましたが、家老職で宮本家というのは代々残っておりまして、その所領地だったところなんですね。江戸時代は武蔵山というおりました、現在でも手向山に宮本家のお墓がちゃんとあるんです。もともと頂上にあったものを麓に移してきているんです。ということで、大変に宮本武蔵、養子の方は伊織というんですけど、縁のあるところでもあります。その辺が実は奇兵隊との激戦地だったということなんですね。

奇兵隊との激戦のときに、お城に火を放って香春に転進したのだから、小倉には武家屋敷が1軒も残っていないわけです。町家は昭和40年代ぐらいまで残っていたんですよ。京都と一緒に間口が狭くて。間口で税金を取りますからね。今でも商店街のアーケードの組合費は大体が間口で取るんです。間口が狭くて奥が土蔵で、周りに塀があって中に中庭があるという構造が昭和40年代までは小倉にもあったんですが、火事で焼けたのと、皆さんほとんど建て替えをしまして、今、残っておりません。この西曲輪というところは、明治以後もそういうものが少しだけ残っていたということになります。

## ■ 明治維新と豊津藩の成立

明治維新の話ですが、藩庁を豊津というところに移します。豊津というのは実は新しい地名でありまして、もともとは豊前国仲津郡錦原と言っておりました。錦原藩じゃまずいということで、豊前国の豊という字と仲津郡の津を取って豊津というふうにして地名を改めて藩庁を移すわけでありまして。

小倉藩が香春藩になり、そして豊津藩になったわけでありましてけれども、当時の小倉のお殿様や重臣たちは何を考えたかということ、戦争で領地の大部分を失ったわけですね。どうしたかということ、まず、学校を造ろうと。お城を建設するよりも学校と人が暮らすまちをつくらうということで、藩校を創立し、役所が要りますから役所を造って、そして、城下町



旧豊津藩民政局跡

も整備をしたわけでありまして。天守閣を普請する予定だったんですけれども、廃藩置県になりましたので、もうそんな時代じゃないということで天守閣は造ってありません。

明治4年に皆さん御存じ廃藩置県があったわけですね。現在、豊津に行きますと小笠原神社という神社があります。熊本に行けば加藤神社があるように、どこにでもお殿様の祖先を祭った神社であります。現在、豊津の小笠原神社の本殿が鎮座しているところが、もともと天守閣が建設される予定だったところなんですね。だから、廃藩置県があと二、三年遅れていたら豊津城ができとったわけですね。

小笠原神社の境内は大変広くて、今、町立の歴史博物館や、昔は豊津町と言っていたんですけど、町役場なんかも実は小笠原神社の境内でありまして、どうも借地料を払ってるようです。

豊津というのも、日本最後に整備された城下町の一つといわれております。

その後、藩校育徳館は旧制の豊津中学になって、



小笠原神社

豊津高校になって、現在、育徳館高校とまた名前を藩校時代の名称に戻したんです。そして、藩校時代の黒門。黒門というと香椎高校にもありますけど、藩校時代の門がまだ残っております。

そろそろ時間になりましたので、まとめであります。

## ■ 我がふるさと小倉

これは、私の高校の大先輩が旧制中学時代の卒業生の方で、召集を受けまして、ソ満国境の警備をしてシベリア抑留されて帰ることが決まったときに家族宛てて書いた手紙の一節であります。「煙は空を流るとも、海と山と川のある小倉は美しいふるさとである」と書いてございます。

最近はそのようなことはありませんけど、一時期は修羅の国だとか言われて、私もじくじたるものがありました。この北部九州は、古墳の時代から先人が織りなした歴史があり、そして、近世、近現代と日本の近代化を支えた歴史的事実や、また、歴史的遺構の数々、そして、先ほど御紹介しました藩校育徳館や、あるいは、今日は触れませんでしたけれども、私塾水哉園のような画期的な教育機関の存在によって、多くの社会的有意なる人材を輩出した土地でございます。

今日は駆け足で、小倉城築造から奇兵隊の戦いまでということをお話をさせていただきました。歴史というのは、先人の失敗例と成功例がそこに書きつづられているわけでございます。我々は客観的に冷静に、そして謙虚に、この先人が残してくれた失敗例と成功例に学びながら、明日の明るい社会をつくらせてまいりたいと思うわけでございます。

本日は最後までご清聴をいただきまして、誠にありがとうございました。(拍手)

## 北九州地区会 定期総会・講演会・懇親会を開催

### 有意義な講演会

令和4年7月5日（火）ホテルクラウンパレス小倉において、北九州地区会定期総会が開催されました。

総会は、白石理事の司会で始まり、小林地区会長の挨拶の後、野村理事が議長に選任され、各議案の審議に入りました。

第一号議案 令和3年度事業報告及び承認について

第二号議案 令和3年度決算報告及び承認について

第三号議案 令和4年度事業計画案の承認について

以上の議案について執行部より説明があり、洲上監事による監査報告が行われ、審議の結果すべての議案について満場一致で可決承認されました。

引き続き行われた講演会では、MJSの宮本支社長より「電子帳簿保存法とインボイス制度におけるMJSの対応について」制度の概要や注意点などを解説していただきました。パワーポイント



を使用したタイムスタンプの説明や事例紹介は大変分かりやすく、今後の顧客への対応をはじめ事務所運営に大いに役立つ有意義な時間となりました。

その後は久しぶりの懇親会がコロナ対策をしながらも、北九州地区会らしい活気溢れる雰囲気で行われ、一連の行事は滞りなく終了しました。

（北九州地区会 百衣 智雄）

## 福岡地区会 福岡地区会定期総会を開催

### 久しぶりに顔を合わす会員も



令和4年7月8日（金）午後4時より福岡地区会定期総会がMJS福岡支社研修室において開催されました。

総会は吉住総務委員長の司会により始まり、来賓の紹介が行われ、吉田副会長の開会の辞、笹田会長の挨拶の後、議長選出に入り西田会員が選ばれました。議事録署名人には古賀会員と〇〇会員が指名され、議案の審議に入りました。

議案1 令和3年度事業報告及び承認について

議案2 令和3年度決算報告及び承認について

吉住総務委員長及び木下財務担当委員より事業報告及び決算報告について説明があり、桑原監事より監査報告がなされ、審議の結果承認されました。

議案3 令和4年度事業計画及び予算案承認について

吉住総務委員長及び木下委員よりそれぞれ説明があり、審議の結果承認可決されました。

議案4 役員選任について

吉住総務委員長が役員候補者名簿を提示して説明し、東会長以下異議なく承認されました。

以上で議案審議が終了しました。議長降壇後、笹田会長から退任の挨拶があり、東新会長が抱負を述べました。続いて来賓のミロク情報サービス鈴木統括部長から祝辞が述べられ、最後に外園副会長の閉会の辞により総会は無事終了しました。

総会終了後、料亭高玉に場所を移して懇親会が開催されました。コロナ対策として密にならないように、いくつかの部屋に分かれての変則的な開催でしたが、久しぶりに顔を合わす会員も多く大変賑やかな懇親会となりました。

（福岡地区会 空閑 秀樹）

## 福岡地区会 研修会「法人の解散と清算をめぐる税務」

タイムリーなテーマで  
実務に活かせる内容



令和4年7月4日（月）にMJS福岡支社において、MJS税経システム研究所顧問で税理士の植田卓氏をお招きし、「法人の解散と清算をめぐる税務」の研修を行いました。感染症対策を考慮し、間隔を空けた聴講席で多くの皆様が真剣に聴かれています。

植田先生のテキストはいつも充実している内容で今回は2冊ありました。「解説編」は講義内容

に沿った流れになっており、法人の休廃業の実態、会社法上の観点、法人税法上の観点が分かりやすく整理されていました。また「資料編」は税法、会社法、民法のみならず破産法、税理士法など関連する条文だけでなく国税庁情報まで載せてありました。

私自身も、最近では毎年のように解散・清算申告を作成しており、今回の講義中も実際の関与先での苦労した体験を思い出しながら拝聴していました。例えば、期限切れ欠損金を控除することによって課税を避ける要件である「残余財産がないと見込まれるかどうか」は植田先生のお話で迷いが大きく晴れました。

今後も最近の流れが続いて、個人なりや廃業などのために解散や清算結了の申告をすることが増えると思いますが、本日のお話を思い出して、自信を持って顧問先企業の指導ができるように努めてまいります。

（福岡地区会 成川 弘）

## プロ野球観戦 ～3年ぶりの開催～

令和4年8月19日（金）福岡地区会はPayPayドームでのプロ野球福岡ソフトバンクホークス対北海道日本ハムファイターズ戦を観戦しました。福岡地区会では恒例の行事でしたが、コロナ禍で2年間中止となり、久しぶりの開催となりました。ドーム6階のスーパーボックスにMJSのスタッフを含めて約100名の参加がありました。

試合は、先発の坂東投手の好投と主砲柳田選手の4安打2打点の活躍で7対2のスコアで快勝しましたが、序盤からリードして危なげない展開となり、皆さんゆっくりと食べて飲むことができました。



以前には福岡地区会の観戦日に優勝決定したこともあり、相性は非常に良いようです。参加者は、試合終



了後のヒーローインタビューや花火まで楽しみました。

残念ながら9月のボウリング大会は中止となりましたが、福岡地区会の活動も少しずつ元に戻ってきました。

しつこいコロナですが、九州ミロク会計人会が安心して活動できることを願っています。

（福岡地区会 空閑 秀樹）

## 筑後地区会 第33回定期総会を開催

### 3年ぶりの会場開催

令和4年7月5日（火）ハイネスホテル久留米において、筑後地区会第33回定期総会が開催されました。新型コロナウイルス感染症により過去2年は書面議決による総会でしたので、3年ぶりに会場開催ができました。

総会は園田会長が議長に選出され、第1号議案「令和3年度事業報告及び決算承認の件」について説明後、小坂田監事による監査報告がなされ、原案通り承認可決されました。続いて第2号議案「令和4年度事業計画及び予算承認の件」について議長から説明があり、審議の結果承認可決されました。事業計画では、例年通りの研修計画と全国統一研修会いわて盛岡大会に多くの会員で参加したいということが決定されました。次に第3号議案「一部役員改選承認の件」では、平成26年から会長を務められた園田会長が退任され、私長谷が新会長に選任されました。園田会長の長年にわたるご功績に敬意を表します。第4号議案では、全国



統一研修会いわて盛岡大会の案内と(株)MJSより「インボイス・電子取引データ保存義務化とMJS対応について」の説明があり、総会は閉会しました。

第2部研修会は、午後1時30分から「法人の事業承継税制の適用と実務」と題しましてMJS税経システム研究所顧問で税理士の植田卓氏からご講義いただきました。令和4年度税制改正で、特例承継計画の提出期限が1年延長されたこの制度について、事業承継税制の概要から資料の入手方法まで実務的に解説いただき、改めてこの税制を再確認することができました。

（筑後地区会 長谷 広信）

## 大分地区会 研修会・定期総会・懇親会を開催

### 久しぶりの会食を愉しむ



令和4年6月24日（金）、J:COM ホルトホール大分において、第20回の大分地区会の定期総会に先立ち、講師にMJS税経システム研究所客員研究員で税理士の谷中淳氏を迎え「事業承継税制の特例の実践活用～制度適用における問題点と制度適用後の検討について～」の研修会を開催しました。

事業承継税制の特例制度は、令和4年度改正で特例承継計画の提出期限が1年延長されて令和6年3月31日までとなり、今一度注目度が上がりそうなタイミングでの研修となりました。

まず制度適用についての基本的事項を確認したあと、事業承継税制の特例創設時に改正された親族以外への贈与や、親族以外からの贈与を受ける場合には、みなし相続が発生し、受贈者が親族以外の贈与者の相続に加わってしまうことになる特異なケースとなることについて解説いただき、この点については特に丁寧な説明が不可欠だと感じました。

全国的にも申請数が少ない難解な制度であるだけに、多くの案件を処理してこられた実務家の講義を受けることができたのは、貴重な機会でした。

なお、研修会終了後に行われた定期総会では、まだコロナ禍以前と同じとはいかないまでも、順調に審議が行われ、無事にすべての議案が承認可決されました。場所を移しての懇親会では、感染防止に注意を払いつつ、久しぶりの会食を愉しむことができました（その後の第7波を考えると、皆さん無事で何よりでした）。

（大分地区会 芦刈 太一郎）

## 佐賀地区会 定期総会・研修会・懇親会を開催

### 新会長は山口直孝会員に

令和4年7月1日（金）に武雄市の武雄温泉東洋館において、佐賀地区会の定期総会が開催され、研修会、懇親会が引き続き行われました。定期総会、研修会は会員16名、懇親会は15名の参加を頂きました。

総会は、古賀昭彦会長が議長を務め、第1号議案「令和3年度事業活動及び収支報告の件」、第2号議案「令和4年度事業計画及び収支予算(案)の件」、第3号議案「役員改選の件」が審議された結果、すべて異議なく承認可決されました。

役員改選では古賀昭彦会長の任期2年が満了したため、次期地区会長は山口直孝会員が務めることとなり、また新理事を志田誠会員が務めることとなりました。

決議終了後は、第46回全国統一研修いわて盛岡大会について改めてご案内頂き、無事総会を締めたとところでMJSによる研修会を行い、その後懇親会を開催いたしました。

懇親会では、来賓にMJS福岡支社長の高木紀



彦氏をはじめとするMJSのスタッフも参加して頂き、感染防止対策を配慮しつつも大いに盛り上がり、和やかなうちに締めくくられました。

原稿執筆時点ですでに令和4年度の研修会も1回行われています。総会後も研修後も参加者からコロナ感染者が出たという話は聞いていません。今後も感染対策を取りつつ地区会の活動を行っていききたいと思います。

（佐賀地区会 山口 直孝）

## 研修会「インボイス制度における実務と導入に向けての準備」

### 制度説明と検討が必要



令和4年8月2日（火）佐賀市のホテルグランデはがくれにおいて、MJS 税務システム研究所客員研究員で税理士の渡辺章氏を講師にお招きして、「インボイス制度における実務と導入に向

けての準備」というテーマで3時間の研修会を開催いたしました。

講義では、適格請求書発行事業者登録制度（インボイス制度）について、免税事業者に係る届出の経過措置や制度導入後の棚卸資産に係る税額調整の方法など、実務で注意すべき点を丁寧に講義して頂きました。免税事業者においては、登録選択は極めて重要な判断をしていかなければならないため、早めの制度説明と検討が必要と感じました。

まだ1年以上先の事と決算業務を優先して、なかなか顧問先への説明、周知等が進んでなかった事を反省し、さっそく業務に活かしていこうと思いました。

（佐賀地区会 池田 健一）

## 長崎地区会

## 第34回定期総会・懇親会を開催

## 新会長を選任

令和4年7月1日(金)長崎市のサンプリエールにおいて、長崎地区会の第34回定期総会が開催されました。定期総会は草野恒史会員の司会のもと、野崎地平会長の挨拶に始まり、その後議長に雪澤知之会員が選出され各議案の審議が行われました。

総会では令和3年度事業報告及び決算・監査報告、令和4年度事業計画(案)及び収支予算(案)、役員改選の件についてそれぞれ詳細な説明があり、慎重審議の結果すべての議案が承認されました。

なお、役員改選では新会長に草野恒史会員が選

任され、議事は無事終了しました。

総会終了後は同会場にて、日本政策金融公庫、十八親和銀行、大同生命保険、MJS からご来賓をお招きして、和やかな雰囲気の中、3年ぶりに懇親会が開催されました。

その懇親会の中でも、MJS 社員の皆様、特に新入社員の皆様の個性溢れる自己紹介は初々しくも頼もしく、会場は大盛り上がりのうちに閉会を迎えました。

コロナ禍また御多忙の中、ご出席いただきましたご来賓の皆様をはじめ、会員の皆様に深く感謝申し上げます。

(長崎地区会 笠戸 智仁)

## 熊本地区会

## 定期総会・研修会・懇親会を開催

## 華やかに盛り上げてほしい

令和4年6月10日(金)、KKR ホテル熊本において、研修会、定時総会、懇親会が開催されました。

久々の集合型である研修会には多数の出席があり、MJS 熊本支社の間嶋氏、津田氏が「電子帳簿保存法」「インボイス制度」「ACELINK NX-Pro」に関するシステム関係の情報を詳しくかつ丁寧に提供して下さいました。

定期総会は、MJS 執行役員・九州沖縄圏統括部長 鈴木和人氏を来賓にお迎えし、午後3時15分から開催されました。

まず、今回で会長職を辞される宮本会長よりご挨拶があり、コロナ禍という思いがけない困難の下開催された熊本での全国統一研修会への熱い想いが語られました。

その後、甲斐会員が議長に選出され、議案の審議に移りました。

前年度事業報告及び収支計算書、さらに、本年度事業計画及び収支予算案についての審議が行われ、すべての事項について賛成多数にて承認可決されました。

ただし、審議の過程のなかで「統一研修会出席時の補助を増額したらどうか」「研修会は集合型に戻すべきではないか」などの貴重なご意見があり、



今後検討すべき課題になるものと思われました。

続いて改選により、新会長に碓塚会員、副会長に後藤会員、高橋会員が選任されました。碓塚会員と高橋会員はともに女性ですので、今後の2年間、熊本地区を華やかに盛り上げて頂きたいです。

懇親会は3年ぶりの開催で、和気あいあいとした雰囲気の中、盛大に行われました。

最後になりますが、コロナ禍で非常に運営が大変であったこの数年間、熊本地区を引っ張って下さった前執行部の先生方、特に宮本前会長に深く感謝の念をお伝え致します。

(熊本地区会 久保寺 恵子)

## 鹿児島地区会 鹿児島地区会総会を開催

### 活気ある総会・懇親会

令和4年6月14日(火)にホテルレクストン鹿児島に於いて、鹿児島地区会総会を開催しました。

令和元年12月に発生した新型コロナウイルス感染症の影響で、会場開催は3年ぶりの開催で、どこことなく懐かしい雰囲気でありました。

また、コロナ感染を防ぐために、会員と会員の間には、アクリル板が設置されており、感染症対策も徹底されていました。

議案審議については、恒例により小川地区会長が議長を務め、予定された「令和3年事業報告と・監査報告」、「令和4年度事業計画」など、すべての議案が滞りなく承認・可決されました。また、「46回全国統一研修会・いわて盛岡大会」の旅費



も地区会から一部補填することが決定しました。

その後、地区会の若手会員！？から、顧問先のインボイス番号の取得状況、MJSのシステムでの取得の仕方、注意点等の意見交換等が行われ、先輩会員から「若手会員で、青年部を結成して、鹿児島地区会をもっと盛り上げてほしい」等の意見がありました。

懇親会も大盛況のうちに終えることができました。

(鹿児島地区会 西山 勝)

## 偏西風

コロナウイルス感染症も、だいぶ少なくなり、第7波も少し落ち着いた感じがします。

かくいう私も、第7波の流れに乗って、7月中旬にコロナに感染してしまい、かなり苦しみました。

私は、健康のためにトレーニングジムへ週4～5日ペースで通っていますが、今回はそこどうつされてしまいました。運動の最中は、マスク着用ですが、更衣室ではマスクを外します。そこでたまたま隣で着替えていた友人と会話したところ、なんと彼が感染していたようで、2日後にLINEで「ごめん、コロナの陽性になった。実は数日前から体調が悪かった。念のために検査してみた。」とメッセージが来ました。体調悪いのに、ジムに来るなよと思いながら、手元に

### コロナに感染

#### ◆宮崎地区会

#### 長谷川 裕

あった抗原検査キットで検査したところ、見事に陽性！すぐに近所のクリニックでPCR検査を受けましたが、ここでももちろん陽性。

この後、帰宅してからすぐにメールで2時間ほどかけて仕事の指示を送り、ホッとしたところのタイミングで熱が一気に上がり始めました。39度以上の熱が出ましたが、それ以上にのどの痛みが強烈で、わずか3日ほどの間にのどぬーるスプレーを2本も消費してしまいました。もちろん2日後に家内も発症し、2人で数日間苦しみました。おかげさまで5日くらいでは完治し、後遺症も出ていませんが、もう2度とかかりたくないと思った病気でした。

皆さまも、コロナウイルス感染症には、十分お気を付けくださいませ。

### 編集後記

先日、九州ミロク会計人会の定期総会に出席してまいりました。

前日の豪雨が夢だったかのような晴天に恵まれ、3年ぶりの対面での定期総会開催を神様も祝福してくれているようでした。

感染防止対策を充分施しながら開催した懇親会で

は、久々の再会を喜び合う姿があちらこちらで見られ、終始和やかな雰囲気のうちに閉会しました。

新しく選任された笹田会長の新体制をしっかり支えるとともに、これからも各地区会の活動や取り組みを余すことなく、会員の皆さんにお伝えしていきたいと思います。(長崎地区会 笠戸 智仁)

【九州ミロク会計人会 11月開催Web認定研修のご案内】

日時 / 締切	演題 / 講師 / 講師からのメッセージ / 研修概要 / 開催形式		申込QRコード
1 11月9日(水) 13:30~16:30 【HP申込締切日】 10月26日(水)	譲渡所得調査のポイントはここだ！ ～調査する側から、譲渡所得はこう見える～	税理士 武田 秀和 氏 (たけだ ひでかず) MJS 税経システム研究所研究員	
	【講師からのメッセージ】 譲渡所得は取扱金額が高額であり、しかも特例が多く、接する機会が少ないこともあり、なかなか自信が持てない税目です。このセミナーでは、譲渡所得の実地調査、事後処理事案の調査対象の選定の判定手順、及び調査の具体的展開を解説します。調査選定のポイントは当初申告の不備・不明点を解明することにあります。譲渡所得の申告に当たって必ず参考となることでしよう。	1. 申告審理 (調査対象事案の選定) ・調査区分及び選定基準 2. 収入金額の判断 ・固定資産税の清算金、実測清算等指摘されることが多い収入金額 3. 譲渡資産の取得の日及び譲渡の日の判断 ・判断誤りによる税負担の相違 4. 取得費 ・買換特例等を適用した資産を譲渡した場合の取得費 ・土地の取得費が不明な場合の考え方 5. 譲渡費用の考え方 6. 居住用財産譲渡の調査ポイント ・最も調査対象となる特例である理由 ・適用誤り事例 7. 事業用財産の買換え特例の調査ポイント	
2 11月16日(水) 13:30~16:30 【HP申込締切日】 11月4日(金)	キャッシュ・フロー計算書の読み方	公認会計士 望月 明彦 氏 (もちつき あきひこ) MJS 税経システム研究所客員研究員	
	【講師からのメッセージ】 中小企業にはキャッシュ・フロー計算書の作成義務がありません。また経理部のなかにキャッシュ・フロー計算書を十分理解しているメンバーがいないこともあります。その結果、キャッシュ・フロー計算書が作成されていなかったり、せっかく作成しても経営幹部へ報告されていなかったりということが起こり得ます。そこで、このような中小企業に対してどのようにキャッシュ・フロー計算書を説明したらよいのか、どのように指導したらよいのか、という観点でキャッシュ・フロー計算書を解説します。本セミナーは、キャッシュ・フロー計算書についての基礎的な解説を行いますので、キャッシュ・フロー計算書の初學者もご参加いただけます。	1. 「3つのキャッシュ」の流れを読み取る ・キャッシュ・フローの理想形は？ ・キャッシュ・フローから成長ステージを見極める 2. 「キャッシュ・フロー計算書」の実物を見てみる ・キャッシュ・フロー計算書を読むときの大原則 ・キャッシュ・フロー計算書を読んでみる 3. 「キャッシュ・フロー計算書」を作って、分析してみる ・B/SとP/LからC/F計算書を作成する ・キャッシュ・フロー計算書の基本的な分析手法を理解する 4. キャッシュ・フロー計算書は粉飾できない、本当か？ ・減価償却費を減らしたらどうなるか？ ・架空売上を計上したらどうなるか？	
3 11月18日(金) 13:30~16:30 【HP申込締切日】 11月4日(金)	組織再編税制の基礎について ～合併の基本から中小企業における活用～	税理士 谷中 淳 氏 (やなか あつし) MJS 税経システム研究所客員研究員	
	【講師からのメッセージ】 実務において、組織再編税制については特定の税理士に業務依頼が集中し、通常の会計事務所においては中々取り扱うことは少ないように思われます。そのような状況ですが税制改正も毎年のように行われ、組織再編税制は様々なバリエーションとなつていきます。大口の法人顧問先グループにおける活用はもちろんですが、単体の中小法人においても今後の事業承継やオーナー社長の財産管理等の場面で活用できるケースが大いに考えられます。組織再編「合併」について税務を中心に基本的項目の解説を行い、中小企業における実際の使われ方についても確認を行います。	組織再編について「合併」の税務を中心に基本的事項についての解説を行い、さらに中小企業における活用方法についての解説を行います。 ・組織再編の概要 ・適格要件 ・完全支配関係・支配関係 ・合併における会計・税務・法務 ・申告における留意点 ・合併比率 ・欠損金の取り扱い ・無対価合併 ・債務超過会社のケース ・中小企業における活用法	

Web 研修会は、MJS のホームページでのみ受け付けております。

MJS ホームページ ( <http://www.mjs.co.jp/seminar/kyusyu> ) の『セミナー一覧』からお申込みください。

＊受講票のご案内＊

受講料 (1名)	3時間研修	5時間研修
九州ミロク会計人会及び会員事務所職員	3,000円 (税込)	4,000円 (税込)
MJS ユーザー (非会員) 所長及び職員	7,500円 (税込)	10,000円 (税込)
一般税理士事務所及び職員	9,000円 (税込)	12,000円 (税込)

＊九州ミロク会計人会会員・会員事務所職員様 1事務所 1名様分は九州会が 1,000円負担します。

【九州ミロク会計人会 12月開催予定認定研修のご案内】

開催日時	開催場所 (形式)	テーマ	講師
12月1日(木) 13:30~16:30	ホテル グランデはがくれ	相続税・贈与税における納税猶予制度の概説 ～知っておいて損はない納税猶予制度のポイント～	税理士 武田 秀和 氏 (たけだ ひでかず) MJS 税経システム研究所研究員
12月2日(金) 13:30~16:30	ハynesホテル久留米	法人版事業承継税制 (非上場株式の納税猶予・免除) の特例措置の徹底解説	税理士 中島 孝一 氏 (なかじま こういち) MJS 税経システム研究所顧問
12月14日(水) 13:30~16:30	Web 研修	取引相場のない株式評価のヒヤリハット事例 ～誤り易い事例を中心に解説～	税理士 成田 一正 氏 (なりた かずまさ) MJS 税経システム研究所客員講師
12月16日(金) 13:30~16:30	Web 研修	電子帳簿保存法が税務調査に与える影響について ～PC、メール等電子情報が及ぼす質問検査権の拡大～	税理士 藤井 茂男 氏 (ふじい しげお) MJS 税経システム研究所客員講師

＊ 12月開催予定認定研修のご案内は、準備が出来次第随時MJS ホームページに掲載いたします。

＊ 今般の新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、研修会を中止・延期させて頂く場合がございます。その場合は、速やかにご連絡いたします。